

『蔵王ダムクリーン作戦(グラウンドワーク in 蔵王ダム 2019)』

令和元年11月8日(金)に水土里ネット日野川流域主催による蔵王ダムクリーン作戦が滋賀県蒲生郡日野町蔵王(蔵王ダム)で開催され、106名(会員7名)の参加がありました。

滋賀県日野町にある「蔵王ダム」は鈴鹿山脈の南西「綿向山」の麓に位置しており、綿向山は神を祀る大衆の山で、標高 1,110m であることから、日野町ではその標高にちなみ、毎年 11 月 10 日を『綿向山の日』と設定しており、毎年、11 月 10 日前後に蔵王ダムクリーン作戦が開催されます。

当日は、晴天の快適なボランティア活動日和となりましたが、ダム堤体を吹き抜ける風は少し冷たく、ウインドブレーカーを必要としました。

受付を済ませると、軍手ではなく、作業用ゴム手袋が配布されます。蔵王ダムは、ロックフィルダムであり、リップラップ材の隙間に繁茂したコセンダングサやチジミザサ等の草はくっつき草で、その除去作業に適した手袋としてゴム手袋が選ばれております。

作業範囲は、広大なダム堤体法面となりますが、毎年、改良区関係者をはじめ多くの方が参加され、効率よく作業が進められ、時間内に作業を終えることができました。



受付状況



主催者からの挨拶



堤体貯水池側法面作業状況



堤体下流側法面作業状況